

公立保育所が担うべき役割

白井市公立保育所の役割及び体制検討委員会 第6回会議資料

公立保育所が担うべき役割（案）

- ① 子育て支援の中核的機能
- ② 民間保育施設に対する相談・支援機能
- ③ 定員調整機能
- ④ 多様なニーズへの対応

公立保育所が担うべき役割（案）

① 子育て支援の中核的機能

公立保育所は、市の子育て支援の拠点として、市民に対して保育や子どもに関する身近な相談や交流の場を提供し、保育施設を利用していない家庭を含めすべての子育て家庭への支援を図る。

また、市内の保育施設や幼稚園等の中心的存在として、これらの機関と市の子育て関係部局との連携の中核を担う。

② 民間保育施設に対する相談・支援機能

公立保育所は、産休明け保育や医療的ケア児、特別な支援を必要とする児童の保育など様々な保育ニーズに対応してきた経験や、看護師が配置されているといった公立**保育所**ならではの特色を活かし、市内保育施設の指導的な立場として、市の保育の質を向上させるため、これまでに培った保育に関する知識や経験を市内の保育施設全体への共有や、**民間保育施設**への相談・支援を行う。

公立保育所が担うべき役割（案）

③定員調整機能

出生数の減少に伴う将来的な保育需要の減少が見込まれるなか、民間保育施設が安定した運営を行うために常時一定以上の児童を受け入れる必要があることから、公立保育所が定員調整機能を担う。

④多様なニーズへの対応

社会情勢の変化による保護者の働き方の多様化に伴い、保育ニーズも多様化していくことが想定される。また、医療的ケア児の受入れの促進や、保育所等を利用していない特別な支援を必要とする児童に対する就学前に集団生活を経験する場の提供が求められる。

公立保育所は民間保育施設より少数のニーズに対応しやすいといった特性を活かし、多様な保育ニーズの受け皿としての役割を担う。